令和5年度事業計画　（新規）

技術検討会「セキュリティ」

世話役　　中嶋卓雄(東海大学名誉教授)

1　事業概要

目的	サイバー攻撃の標的とされる脆弱性について、具体的な事例に基づき、その原理を学習する。 脆弱性についてオープンソースのツールを利用して実際に診断する技術を習得する。 政府が進める情報セキュリティガイドラインの内容の把握と、個々の組織にとって必要となる情報セキュリティポリシーの内容について検討する。
内容	◆ サイバー攻撃の具体的な事例の理解 ◆ 脆弱性発見のためのツールの利用技術の理解 ◆ 情報セキュリティポリシーの内容の習得
計画	毎月1，2回程度、サイバー攻撃の理解をへて、体験形式のツール操作と講習会形式の技術検討会を開催する
キーワード	サイバー攻撃手法、脆弱性診断、セキュリティポリシー
目標及びその進め方	サイバー攻撃の標的とされる脆弱性、特にWebシステムに関する脆弱性の仕組みを理解し、具体的にその脆弱性を発見するオープンソースのツールのインストールおよび利用方法を学び、脆弱性診断の初歩的なステップを理解する。さらに、組織にとって必要となる情報セキュリティポリシーの内容について、その必要項目について議論する。結果として、代表的なサイバー攻撃の防御の方法、技術的なレベルの限界および制度としてのセキュリティ強化の方向性について理解する。 ①参加者のインターネット、OS、サーバシステムなどの理解力を把握し、具体的なサイバー攻撃のタイプを選択する。 ②選択したサイバー攻撃が実現される方法、攻撃手法について理解する。 ③具体的に、システムの変更を実技として組み込みながら、サイバー攻撃の防御の手法を理解する。 ④単独の組織としてのサイバー攻撃の防御の限界と組織としての情報セキュリティポリシーのあり方について理解する。 ・産業技術センター等と協力して、セキュリティ分野の技術力向上につなげていく。
対象者	● セキュリティエンジニア ● ウェブエンジニア ● 情報ポリシー作成担当部署の方
会員	随時募集する

2　支出計画

単位:千円

	RIST負担分					備考
	設備費	原材料費	消耗品費	その他	合計	
予算	50			250	300	

3　予算積算(概算で結構です)

(単位:千円)

	品名	単価	個数	価格	備考
設備費	脆弱性ホスト構築セット	50	1	50	
原材料費				0	
消耗品費				0	
その他	講師旅費・謝金、会場費など	250	1	250	
合計				300	